

経営比較分析表（令和4年度決算）

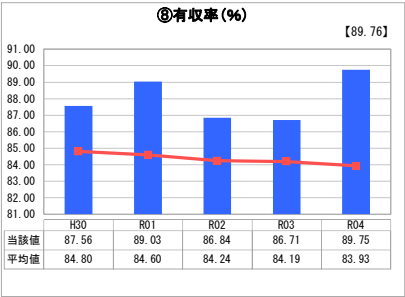
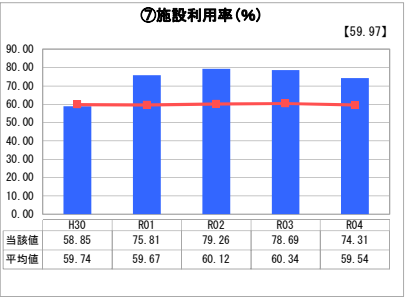
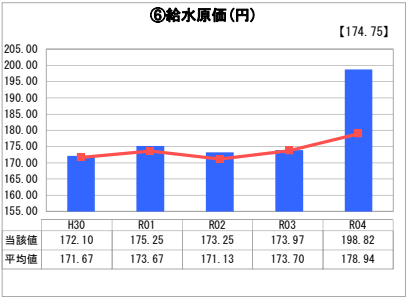
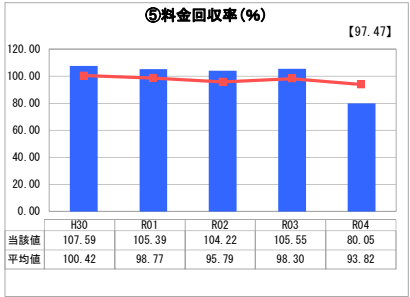
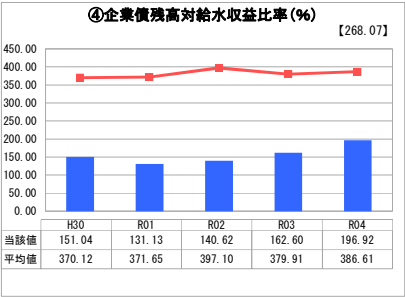
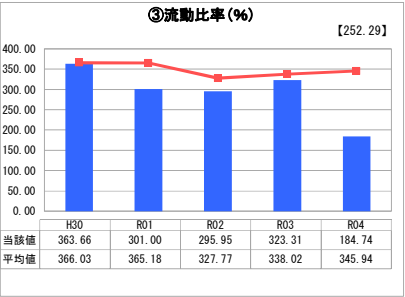
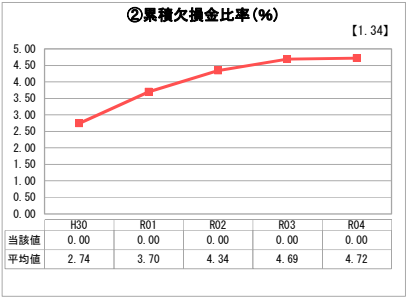
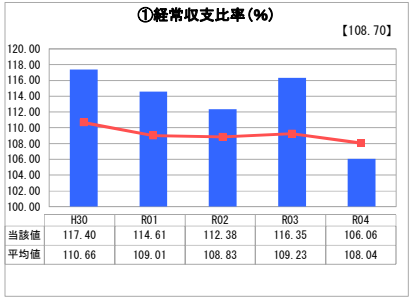
埼玉県 宮代町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	75.75	99.98	3,003	

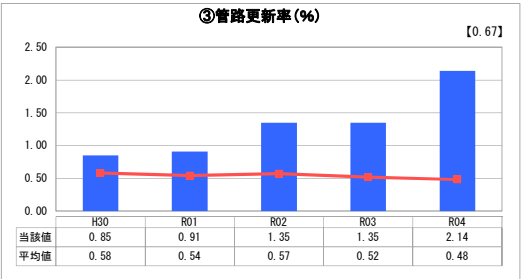
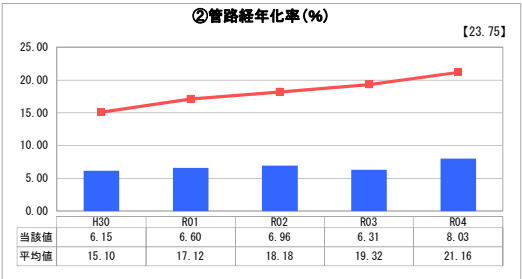
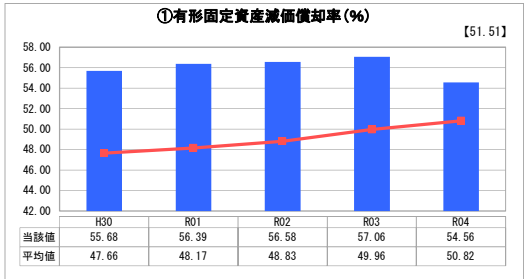
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,514	15.95	2,101.19
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
33,340	15.95	2,090.28

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
前年度より10ポイントほど減少しています。これは、水道料金の基本料金免除による経常収益の減少に加え、物価高騰の影響により経常費用が増加したことによるものです。平成22年度の料金改定以降、赤字を示す100%を越えていますので、健全な経営を維持しています。

②累積欠損比率
なし

③流動比率
前年度より大きく減少しています。これは、工事費を未払金に振替えてから支払したことによるもので、決算日に流動負債が大きく増加したことによるものです。類似団体平均値を下回っていますが、100%を大きく上回っており支払能力に問題はありません。

④企業債残高対給水収益比率
平成13年度から令和元年度までは、起債を行わずに施設や管路の必要な更新ができており、類似団体平均値と比べ低い水準で推移しています。

⑤料金回収率は、前年度より25ポイントほど減少しています。これは、水道料金の基本料金免除を実施し、その免除金額分を一般会計からの補助金で賄ったことによるものです。

⑥給水原価は、前年度より24ポイントほど上昇し全国平均や類似団体平均値を大きく上回っています。これは、水道料金の基本料金免除を実施し、年間総有収水量が減少したこと、物価高騰の影響により経常費用が増加したことによるものです。年間総記水量や年間有収水量が年々減少しているの、引き続き経費の削減に努めます。

⑦施設利用率は、全国平均や類似団体平均値を上回っており、効率的な施設の運用を行っています。

⑧有収率は、類似団体平均値を上回っており、引き続き、計画的な漏水調査を実施して、更なる改善に努めます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
全国平均や類似団体平均を上回っており、今後も、更なる老朽化が進行していくことが予測されます。引き続き、計画的な施設の更新を進めていきます。

②管路経年化率
計画的に管路更新を行っており、全国平均や類似団体平均値と比較して、低い水準を維持しています。

③管路更新率
計画的に管路更新を行っていますが、横町地区の民間開発による更新が行われたため、全国や類似団体と比較しても上回る結果となっています。

全体総括

経営の健全性・効率性に関する指標が示すとおり、現在の経営状況は概ね良好ですが、給水原価が全国平均や類似団体平均を上回っており、引き続き投資の効率化や維持管理費の削減に努めていきます。

今後は人口減少や水需要構造の変化等により、更なる水道料金収入の減少が見込まれる中、施設等の老朽化による計画的な施設の更新、耐震化に対応するために財政基盤の強化を図っていく必要があります。

このため、水道事業全般にわたる経営の合理化に努めつつ、今後の水道事業と水道料金のあり方について検討していきます。